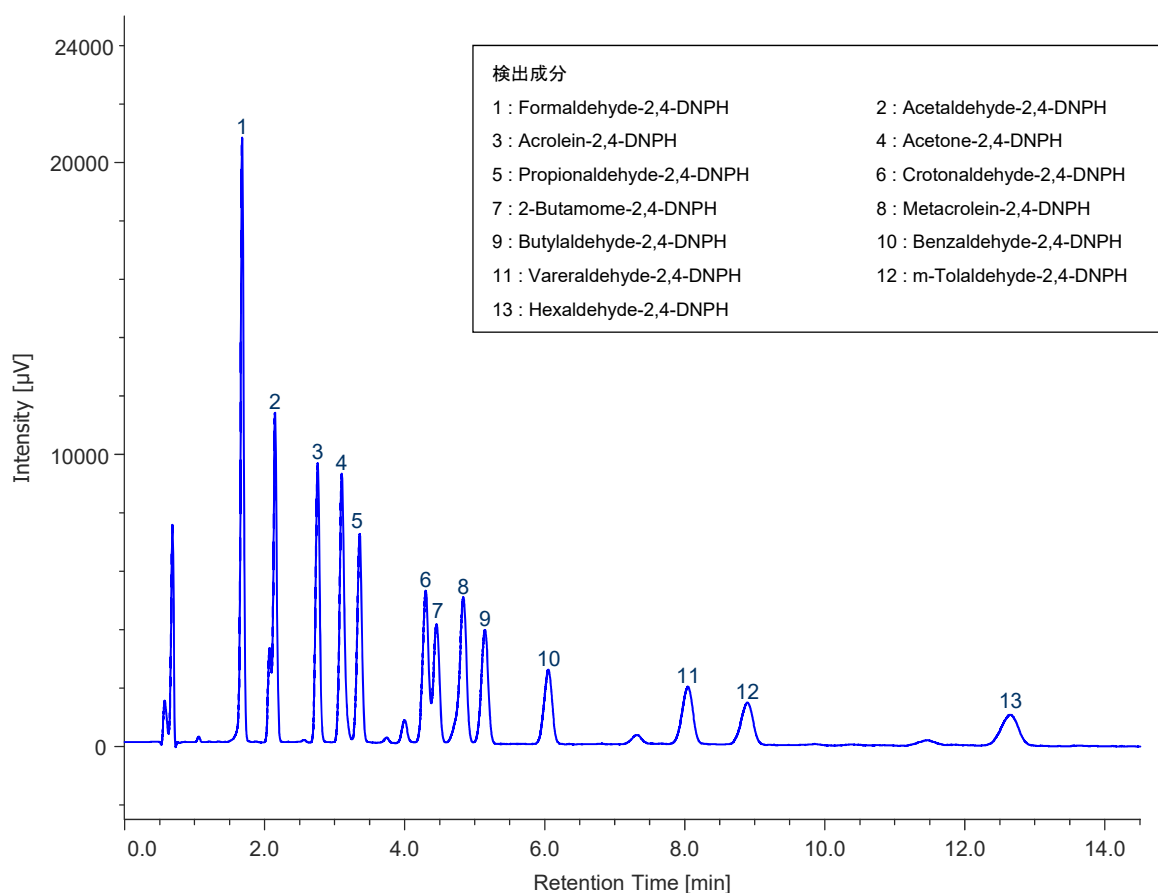


コアシェルカラムによるアルデヒド13成分一斉分析

シックハウス症候群の原因物質としても知られるアルデヒド類は、有毒であること、刺激臭を持つことから建築や環境の分野で法的規制の対象となっている。ホルムアルデヒドを含む13成分のアルデヒド類に関してはヒドラジン誘導体化を用いたHPLCによる一斉分析が行われている。コアシェルカラムを用いることで13成分を15分以内に一斉分析できる。

<測定条件>

カラム : J-Pak Core C18 (4.6 mm I.D. × 100 mmL, 2.7 μm)
 検出 : UV-360 nm (セミマイクロセルを使用)
 移動相 : 水/アセトニトリル/THF (55/25/20)
 流量 : 1.5 mL/min
 カラム温度 : 40 °C
 測定試料 : SPELCO Carb Method 1004 DNPH Mix2
 水/アセトニトリル (50/50) で100倍希釈して測定



Keyword : コアシェル, アルデヒド, J-Pak Core C18, 逆相, プレカラム誘導体化法, シックハウス症候群